

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2023年1月1日から2023年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 「石川達三」「小牧近江」『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版第2期、ジャパンナレッジ2023年3月15日

II 学会報告等

* 学会報告

III 社会活動

* 社会活動

- 1) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～2023年3月
- 2) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～
- 3) 秋田県立循環器・脳脊髄センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～
- 4) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～（会長職務代理者、2023年11月～）
- 5) A B S秋田放送番組審議会委員長、2014年7月～
- 6) 秋田県文化財保護審議会委員、2014年9月～（副会長、2023年8月～）
- 7) 秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014年10月～
- 8) 秋田県立秋田高等学校同窓会常任理事、2014年10月～
- 9) 私立大学等即戦力人材育成支援事業選定に係る審査委員会委員、2018年4月～
- 10) 公益財団法人さきがけ文学賞渡辺喜恵子基金理事、2018年6月～
- 11) 秋田県立図書館協議会会長、2019年11月～
- 12) 日本現代詩歌文学館振興会評議員、2020年4月～
- 13) 秋田市立図書館協議会委員長、2022年7月～
- 14) さきがけアーカイブス専門委員、2022年10月～
- 15) 秋田県立秋田南高等学校・中等部学校評議員会座長、2023年4月～
- 16) 秋田県立秋田中央高等学校 SSH 運営指導委員長、2023年6月～
- 17) 秋田県立横手高等学校 SSH 運営指導委員、2023年6月～

* 学会活動

- 1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～
- 2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～
- 3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～
- 4) 日本社会文学会理事、2011年6月～
- 5) 秋田風土文学会会長、2015年2月～
- 6) 「種蒔く人」顕彰会幹事、2016年4月～
- 7) 「種蒔く人」顕彰会副会長、2017年6月17日～
- 8) 八郎潟・八郎湖学研究会役員、2018年3月～
- 9) 日本近代文学会東北支部監事、2021年7月～2023年12月

- 10) 「種蒔く人」百周年記念事業実行委員会事務局長、2018年9月～2023年2月
- 11) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2023年2月4日
- 12) 八郎潟・八郎湖学研究会総会運営、2023年4月15日
- 13) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2023年6月24日
- 14) 日本近代文学会東北支部夏季大会運営、2023年7月8日
- 15) 秋田風土文学会総会運営、2023年8月26日
- 16) 日本近代文学会東北支部冬季大会運営、2023年12月23日

* 受賞

- 1) 秋田市一般表彰／行政管理、2023年7月12日
- 2) 第40回秋田市文化選奨／学術部門、2023年7月25日

IV 講演・公開講座

* 講演・公開講座

- 1) いかわ夕学の会「井川・潟、そして文学」2023年7月7日（於：井川義務教育学校）
- 2) 令和5年度キャリア教育充実事業「キャリア設計e-ミーティング」／今、私が知りたいこの分野」2023年8月1日～2023年2月17日（オンデマンド）
- 3) 令和5年度キャリア教育充実事業「キャリア設計e-ミーティング」／パネルディスカッション～未来へつなぐ 学びの一步を踏み出そう～」2023年9月30日～2023年2月17日（オンデマンド）
- 4) 石井露月顕彰全国俳句大会兼第65回秋田市短詩型大会「八郎潟短詩型文学誌」2023年9月16日（於：秋田市雄和市民サービスセンター）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 令和5年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料・旧蔵資料による『種蒔く人』主要同人今野賢三の研究」（課題番号19K00324）研究代表者
- 2) 令和5年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「秋田県立博物館所蔵未公開資料による後藤宙外研究」（課題番号23K00297）研究代表者

* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 「恩師は今」『南翔』第79号、2023年9月29日

* 記事・取材協力等

- 1) 「プロレタリア作家／松田解子の未収録童話／5編発見 世相 生き生き描写」『読売新聞』2023年2月15日
- 2) 「「100キロマラソン」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2023年2月28日
- 3) にちよう学芸館「秋田の名著奇書再発見12／新風土記叢書「秋田」伊藤永之介著／作品の価値、色あせず」『秋田魁新報』2023年3月12日
- 4) 「「えび☆ステ」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2023年3月29日
- 5) 「「秋田ミライのー」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2023年4月26日
- 6) 「秋田放送番組審議会「由利本荘市のー」を合評」『秋田魁新報』2023年5月26日

- 7)「日本海中部地震／40年番組を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2023年6月13日
- 8)「令和5年度秋田市功労者／市勢発展に大きく貢献」『広報あきた』No.2036、2023年7月7日
- 9)「令和5年度秋田市文化選奨」『広報あきた』No.2037、2023年7月21日
- 10)「秋田放送番組審議会「えび☆ステー」を合評」『秋田魁新報』2023年7月28日
- 11)「秋田放送番組審議会／24時間テレビを合評」『秋田魁新報』2023年9月29日
- 12)「秋田放送番組審議会／「廃校から10年」を合評」『秋田魁新報』2023年11月21日
- * 被書評・引用・言及等
- 1)「編集後記」『海風』第41号、2023年3月31日
- 2)『読売新聞』が「未収録童話」を記事に『松田解子の会会報』第35号、2023年12月

内山 応信 教授

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 内山応信「コロナ禍に高校3年間を過ごした青年達の体力の特徴—コロナ禍前の青年達との比較から—」第70回日本教育医学会大会、2022年8月22日（於：ウインクあいち）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田市第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン策定検討委員会委員、2021年4月～
- 2) 秋田市スポーツ振興基金運営委員会委員、2016年5月～
- 3) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実行委員会委員、2011年5月～
- 4) 秋田県立循環器・脳脊髄センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～
- 5) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～

* 学会活動

- 1) 学会誌論文査読、日本教育医学会『教育医学』、2023年8月～12月
- 2) 日本教育医学会理事、2015年4月～
- 3) 日本体力医学会東北地方会幹事、2010年4月～

* 受賞等

- 1) 日本スノーボード協会ハイクオリティ技術認定試験 TECH.TEST グレード1 合格、2023年3月5日

IV 講演・公開講座

* 講演・公開講座

- 1) 秋田大学、秋田県、秋田産学官ネットワーク、秋田科学技術協議会、及び秋田大学産学官連携推進協議会主催、未来へのステップ：あきたイノベーションフォーラム「アフターコロナ：秋田の新たな可能性を発見する」ブース出展「アフターコロナの秋田の青年を健康に—心身健康のプロファイル評価方法の模索」、2023年12月5日（於：秋田拠点センターアルヴェ）
- 2) 秋田県立大学主催、令和5年度秋田県立大学公開講座「三種町の地域づくりと県立大学—新しい切り

口で地域の課題に迫る」「すき間時間で簡単転倒予防体操」講師、2023年11月23日（於：三種町山本地域拠点センター）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）、「他者動作のミラーリングを利用した簡便で新奇な軽度認知症スクリーニング法の提案」（研究課題/領域番号18K11102）、2018年4月～2025年3月、研究代表者

* 受託研究

- 1) 秋田大学共同研究「習慣的なラート実施による身体機能向上効果の解明」、2022年12月1日～、共同研究者

* 被書評・引用・言及等

- 1) 被引用：『Aging Research Reviews』、『Aging Clinical and Experimental Research』、『Archives of Physical Medicine and Rehabilitation』、『BMC Geriatrics』、『Biology of Sport』、『Children』、『European Journal of Physiotherapy』、『European Review for Medical and Pharmacological Sciences』、『Frontiers in Public Health』、『Frontiers in Human Neuroscience』、『Frontiers in Physiology』、『Gait and Posture』、『Health Care for Women International』、『IEEE Sensors Journal』、『International Journal of Environmental Research and Public Health』、『Journal of Computing in Civil Engineering』、『Journal of Motor Learning and Development』、『Journal of Functional Morphology and Kinesiology』、『Journal of Sports Medicine and Physical Fitness』、『Neuropsychologia』、『Open Biomedical Engineering Journal』、『Psychological Research』、『Physiological Reports』、『PeerJ』、『Retos』など、査読付き学術雑誌掲載原著論文による被引用30件～

小松田 儀貞 准教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文

- 1) 小松田儀貞「宮沢賢治の〈芸術〉—賢治という薬あるいは毒」『賢治学+』（岩手大学人文社会学部宮沢賢治いわて学センター）2023年6月、第3集、147～157ページ（単著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 小松田儀貞「社会と文化芸術の共進化—自著紹介を中心に」2022年度第2回東北社会学会研究例会、2023年3月18日（オンライン）

* 研究会報告

- 1) 小松田儀貞「社会と文化芸術の共進化—artificationの問題性—」社会理論研究会、2023年3月31日（オンライン）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) エフエム秋田番組審議会委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）
- 2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～
- 3) 秋田市男女共生推進会議委員（副委員長）2016年4月～
- 4) 秋田市男女共生推進会議専門委員（委員長）2022年7月～

IV 講演・公開講座

* 講演・公開講座

- 1) 岩手県立大学総合政策学部科研費等獲得講習会「公立大学所属教員による研究申請書の解説と質疑応答」（主催：総合政策学部学術委員会）2023年7月12日（於：岩手県立大学総合政策学部会議室 ※オンライン報告）
- 2) 農民芸術ゼミナール（金ヶ崎芸術大学校）「生活の〈芸術化〉とは何か？」2023年9月16日（於：金ヶ崎芸術大学校（岩手県金ヶ崎町））
- 3) 山形国際ドキュメンタリー映画祭2023 [トークセッションナイト@YIDFF2023] 公開研究会「アートはいつ〈アート〉になるのか～映像と〈アート化〉をめぐる～ 基調報告」2023年10月9日（於：やまがたクリエイティブシティセンター Q1 2-C）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 2020～2023年度科学研究者基盤研究(B)「社会とアートの共進化的動態と artification の諸相に関する領域横断的研究」（課題番号20H01576）研究代表者

* 被書評

※小松田儀貞『社会化するアート／アート化する社会 社会と文化芸術の共進化』水曜社（単著）2022年刊行に対する書評。

- 1) 『フィランソロピー』（公益社団法人 日本フィランソロピー協会）2022年10月号（269号）、31ページ
- 2) 『地域開発』（日本地域開発センター）2023年春号（645号）、68ページ（評者：久保由加里）
- 3) 『文化経済学』（文化経済学会）2023年20巻1号、48～50ページ（評者：小泉元宏 立教大学准教授）
- 4) 『社会学研究』（東北社会学研究会）2023年第108号、185～190ページ（評者：吉原直樹 東北大学名誉教授）

* 書評リプライ

- 1) 小松田儀貞「書評リプライ」『社会学研究』（東北社会学研究会）2023年第108号、191～195ページ

* 集中講義

- 1) 岩手大学人文社会科学部 現代文化特講 A「現代文化とアイデンティティのゆくえ」2023年2月28日～3月3日（於：岩手大学）
- 2) 東北大学文学部・大学院 社会学各論／特論 2「社会と文化芸術の共進化」9月25日～28日（於：東北大学）
- 3) 放送大学秋田学習センター 面接授業「社会と文化芸術の〈共進化〉」11月18日～19日（於：放送大学秋田学習センター）

宮本 雲平 准教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) Koiso, M. and Miyamoto, U. 「Stability of hypersurfaces of constant mean curvature with free boundary in two parallel hyperplanes」 2023年2月3日, JSIAM Letters, 2023, 15巻, 9～12ページ (共著)
- 2) Hioki, K. and Miyamoto, U. 「Determining parameters of a spherical black hole with a thin accretion disk by observing its shadow」 2023年2月22日, Phys. Rev. D 107, 044042, 1～13ページ (共著)
- 3) Koiso, M. and Miyamoto, U. 「Stability of hypersurfaces with constant mean curvature trapped between two parallel hyperplanes」 2023年6月16日, Japan J. Indust. Appl. Math. (2023), 1～36ページ (共著)

II 学会報告等

*学会報告

- 1) Miyamoto, U. and Hioki, K. 「Determining parameters of a black-hole accretion-disk system by observing the shadow」 Cosmology 2023 in Miramare, 2023年8月28日 (於: SISSA, Trieste, Italy)
- 2) 宮本雲平, 日置健太「有限距離にあるブラックホールの影の観測によるパラメータ決定」日本物理学会第78回年次大会, 2023年9月16日 (於: 東北大学青葉山キャンパス)

III 社会活動・受賞等

*学会活動

- 1) 日本物理学会第78回年次大会, 宇宙線・宇宙物理領域・相対論, 座長, 2023年9月16日 (於: 東北大学青葉山キャンパス)

IV 講演・公開講座

*講演・公開講座

- 1) 秋田県立大学学生・アドミッションチーム主催, ハイレベル数学講座「数学で解く物理の世界」, 2023年3月27～29日 (於: 秋田県立大学本荘キャンパス)
- 2) 秋田県立大学市民公開セミナー, 教養と遊ぶ, 「ブラックホールからタイムマシンまで: アインシュタインの一般相対論とは」, 2023年10月28日 (於: 秋田県立大学本荘キャンパス)

V その他の活動

*助成研究

- 1) 文部科学省科学研究費, 基盤研究 (C)「量子効果によるワームホール形成の不安定化: 経路積分による定式化と例証」研究代表者, 500,000円

* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 宮本雲平「力学と数学：すべては運動方程式の積分」『数理科学』（サイエンス社）2023年5月，719号，7～14ページ（単著）

* 記事・コラム・取材協力等

- 1) フジテレビ系列『世界の何だコレ！？ミステリー』「タイムトラベルは可能？」2023年8月23日，出演・取材協力

鈴木 祐丞 助教

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) (翻訳) 鈴木祐丞「『死に至る病』におけるキェルケゴールの絶望の現象学」、ジョン・スチュアート著（榊形公也監訳）『キェルケゴールは反ヘーゲル主義者だったのか？——彼のヘーゲルへの関わりを再吟味する』、萌書房、599-650頁、2023年9月。
- 2) (書評) 鈴木祐丞「飯島宗享『実存思想』」、『週刊読書人』、2023年11月24日号。
- 3) 鈴木祐丞「カフカとキェルケゴール——実存の狂気と、この世界への愛」、『現代思想』、vol. 51-17 (2024年1月臨時増刊号 総特集＝カフカー没後一〇〇年—)、210-223頁、2023年12月。

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 鈴木祐丞「キェルケゴールと、真理の実存的表現」、東北哲学会第73回大会、2023年10月、弘前大学。

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 中通総合病院倫理委員会委員、2018年4月～
- 2) 秋田県薬剤師会研究倫理審査委員会委員、2019年4月～

* 学会活動

- 1) キェルケゴール協会理事、2016年7月～
- 2) キェルケゴール・セミナー世話人代表、2017年7月～
- 3) 実存思想協会幹事、2017年8月～
- 4) 東北哲学会秋田地区委員 2022年7月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 科研費 基盤 (C) 「キェルケゴールの日記——邦訳、出版と研究の試み」、2020～2024年度、研究代表者

* その他

渡部 昌平 准教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 日本キャリア教育学会（情報委員会）編「キャリア教育の射程」2023年6月15日、実業之日本社（共編著）

* 学術論文等

- 1) 渡部昌平「キャリア分野における木村周先生の足跡と影響」『日本キャリア・カウンセリング学会 TODAY』2022年12月31日、5(2)、20～24ページ（単著）
- 2) 渡部昌平「大学における消費者教育の内容および課題と、本学における消費者教育の方向性に関する探索的検討」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2023年3月31日、第24号、1～7ページ（単著）
- 3) 渡部昌平「教職科目「職業指導」のあり方に関する探索的研究」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2023年3月31日、第24号、9～13ページ（単著）
- 4) 渡部昌平「セカンドキャリア設計の準備の必要性に関する探索的研究」『日本キャリア・カウンセリング学会 TODAY』2023年6月30日、6(1)、1～8ページ（単著）
- 5) 渡部昌平「情報化社会に対応したキャリア教育の構築に向けた基礎的調査」『日本キャリア・カウンセリング学会 TODAY』2023年12月31日、6(3)、1～7ページ（単著）

* proceedings

- 1) 渡部昌平「自己理解と積極性を促すキャリア教育（6）」『指導と評価』2023年1月、vol.69-1、50～51ページ

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 渡部昌平「教職科目「教育相談」で学生は何を学んだのか」東北心理学会第76回大会、2023年7月9日（於：新潟大学）
- 2) 渡部昌平「セカンドキャリア設計の必要性に関するフォローアップ研究」日本キャリアデザイン学会、2023年9月2日3日（於：九州産業大学）※抽選（落選）により発表機会なし
- 3) 渡部昌平「ツールを用いた自己分析の効果と課題に関する探索的研究」日本教育カウンセリング学会第20回研究発表大会、2023年10月28日（於：福岡教育大学）
- 4) 渡部昌平「キャリア相談にきた学生の意識・行動を継続させるフォローアップの必要性と課題」日本キャリア教育学会第45回研究大会、2023年10月29日（於：愛知教育大学）
- 5) 渡部昌平「キャリアシミュレーションプログラムの効果と課題～成人カウンセラーが実施した感想からの検討」日本キャリア・カウンセリング学会第28回大会、2023年11月25日（於：帝京平成大学）

* 学会報告座長・コメンテーター等

- 1) 東北心理学会第76回大会口頭発表C座長
- 2) 日本キャリア教育学会北海道・東北地区部会2023年度第2回研究会「学会発表・学会参加のメリットとコツ」企画・司会、2023年12月16日（於：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス）

Ⅲ 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県地域訓練協議会会長（秋田労働局）、2012年 6 月～
- 2) (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田センター運営協議会会長、2015年 4 月～
- 3) 特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会 キャリアコンサルティング技能検定 指定試験機関技能検定委員、2017年 5 月～
- 4) 秋田労働局キャリアコンサルタント更新講習運営委員会委員、2020年 3 月～
- 5) 秋田県産業教育審議会委員、2023年10月～ ほか

* 学会活動

- 1) 日本キャリア教育学会 北海道・東北地区部会幹事（2021年 1 月～）
- 2) 日本キャリア・カウンセリング学会 学術論文査読
- 3) 日本教育カウンセリング学会 編集査読協力委員(2016年 3 月～)
- 4) 日本キャリアデザイン学会 編集委員（2023年 9 月～）
- 5) 日本産業カウンセラー協会秋田県運営部自主学習組織「秋田ふれあいこまち会」副会長（2019年 4 月～）ほか

Ⅳ 講演・公開講座

* 講演・公開講座

- 1) 日本生産性本部キャリアクロス会「ピーヴィーのソシオダイナミックキャリアカウンセリング」、2023年 1 月26日（於：オンライン）
- 2) かづの商工会管理職研修「若手社員の職場定着に向けて」、2023年 2 月27日（於：感動鹿角パークホテル）
- 3) 日本産業カウンセラー協会秋田県運営部自主勉強組織秋田ふれあいこまち会「キャリアシュミレーションプログラムをやってみよう」、2023年 5 月13日（於：オンライン）
- 4) 日本キャリア開発協会 JCDA オンラインライブラリー「若者のキャリア形成支援を考える」、2023年 5 月公開（3 月撮影）
- 5) 中学校新任進路指導主事研修講座「中学校におけるキャリア教育」、2023年 7 月 6 日（於：秋田県総合教育センター）
- 6) 由利本荘市役所職員研修「ブラザーシスター制度を効果的に進めるために」、2023年 7 月11日（於：由利本荘市役所）
- 7) あきた就職活動支援センター職場定着セミナー「Z世代の雇用管理～若手社員の採用から定着に向けて」、2023年 9 月13日（於：秋田テルサ 5 階第一会議室）
- 8) 秋田県高等学校教育研究会進路指導部会講演「自ら積極的に行動する生徒を育てるには？～VUCA時代のキャリア教育とは」、2023年11月21日（於：秋田テルサ）
- 9) 大仙市立平和中学校 PTA 行事「キャリア講演会」、2023年12月15日（於：大仙市立平和中学校体育館）
- 10) 日本生産性本部キャリアクロス会「クライアントを誘導するブラックナラティブアプローチ」、2023年12月19日（於：オンライン）

V その他の活動

* 記事・コラム・取材協力等

- 1) NHK ニュースこまち (2023年 9 月13日) 「Z 世代の雇用管理」
同日18:10及び20:45の「ニュースこまち」にて講演の様子とインタビューが放映

* その他

- 1) 秋田県立秋田南高等学校第 2 学年学術探究活動 指導・助言

伊藤 大輔 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 伊藤大輔「中学生の学級帰属意識と学習方略の使用との関係」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2023年 3 月30日、第24号、15～24ページ
- 2) 廣田千明・橋浦康一郎・伊藤大輔「太陽光発電を題材としたプログラミング教材」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2023年 3 月30日、第24号、67～75ページ (共著)
- 3) 磯部征尊・伊藤大輔・倉本哲男「学び続ける教員像の確立に向けた研修体系表の提案と研修プログラムの検証：愛知教育大学教員研修連絡協議会の概算プロジェクトを通して」『学校改善研究紀要2023』(日本学校改善学会) 2023年 3 月、第 5 巻、41～55ページ (共著)
- 4) 伊藤大輔・木村竜也「教職課程履修生における ICT 活用指導力に対する苦手意識の影響」『秋田県立大学ウェブジャーナル A (地域貢献と研究成果)』2023年10月31日、第11巻、46～56ページ (共著)

* Proceeding

- 1) 伊藤大輔・寺西望・木村竜也「総合的な探究の時間で生徒は何を学んだか？一振り返りシートの計量テキスト分析の試みー」『日本教育工学会研究報告集』(日本教育工学会) 2023年 5 月 5 日、JSET 23- 1、215～222ページ

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 木村竜也・伊藤大輔・江村伯夫「初年次教育において自律的な学習者を育てる試み」日本教育工学会 2023 年春季全国大会、2023年 3 月35日
- 2) 伊藤大輔「バーンスティンの教育コード理論に基づく戦後初期コア・カリキュラムの一考察ー金透プランにおける『自由研究』を事例としてー」第 9 回活動理論学会研究大会、2023年 3 月25日
- 3) 磯部征尊・渡邊岬・小出邦博・伊藤大輔・向田識弘・山崎貞登「生活を工夫し創造する資質・能力を育む形成過程テストの分析」日本産業技術教育学会 第66回全国大会、2023年 8 月19日
- 4) 河村敏文・伊藤大輔・磯部征尊「技術科における育成すべき資質・能力に関する研究」日本産業技術教育学会 第66回全国大会、2023年 8 月20日
- 5) 河村敏文・伊藤大輔・磯部征尊「年代別教員の自己調整力に関する傾向分析」日本教育工学会2023 年秋季全国大会、2023年 9 月16日

6) 河村敏文・伊藤大輔・山崎貞登・磯部征尊「構想・設計学習に着目したモデリングに関する研究」日本教科教育学会第49回全国大会（弘前大会）、2023年10月8日

7) 山住勝広・富澤美千子・伊藤大輔「チェンジラボラトリーにおける教師の変革的エージェンシーの拡張―成城学園初等学校での活動理論にもとづく形式的介入の試み―」日本教育方法学会第59回大会、2023年10月15日

* 研究会報告

1) 伊藤大輔「キルパトリックによる『カリキュラム作成の基礎』 学習の成立とその展開過程に注目して」科研費・基盤研究（A）「拡張する学校を創る」第3回研究会、2023年5月20日

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座等

1) 2023年度愛知教育大学公開講座 スクールリーダー研修「生涯学び続ける力を育むために～自律的学習動機づけと自己調整学習の理論から考える～」講師、2023年7月20日～8月31日（オンライン）

2) 主体的に学習に取り組む態度に関する校内研修（秋田県立由利高等学校）「ルーブリック評価とその活用について」講師、2023年7月24日

3) 市民公開セミナー：教養と遊ぶ「入門：教育方法論～わかりやすい説明について考える～」、2023年10月28日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

V その他の活動

* 助成研究

1) 令和5年度部局提案型研究推進事業「STEAM教育の視点から教養教育を再構築する試み」2023年4月～2024年3月、研究代表者

2) 科学研究費補助金（基盤研究(C)）「学級力向上プロジェクトを中核とした教科等横断的なカリキュラム開発に関する研究」2023年4月～2026年3月、研究代表者

3) 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）「『LESSONSTUDYとカリキュラムマネジメント教職研修』開発の国際的研究」、2020年10月～2024年3月、研究分担者

4) 科学研究費補助金（基盤研究(A)）「拡張する学校を創る―変革的エージェンシーの形成へ―」、2022年4月～2027年3月、分担研究者

5) 科学研究費補助金（基盤研究(C)）「見えないものの価値の認識を促すプログラミング教材の開発」、2022年4月～2026年3月、分担研究者

6) 科学研究費補助金（基盤研究(C)）「日本型 STREAM 教育の確立を目指す国際比較調査と教育実践研究」、2022年4月～2025年3月、分担研究者

高橋 守 教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Takahashi, M. Dougherty, P. Tacker, J. 「“Chicken and Egg” Problem: Word Counts or Academic Ability?」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2023年3月31日、第24号、25-32ページ（共著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Takahashi, M. 「How to Memorize Words Using Anki」、全国語学教育学会（JALT）分野別研究部会2023年次大会、2023年5月14日（オンライン）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員（会計担当役員2015年10月～2023年12月）</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 市民講座「教養と遊ぶ」：「全部暗記でいいのに～効率の良い英語学習術～」、2023年10月21日（於：秋田県立大学 本荘キャンパス）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>日本学術振興会学研究費、基盤研究（C）、20K00837 【R2-R5】研究課題「英語学力とエクステンシブ・リーディング（英文多読）の関係」、研究代表者</p>

岡崎 弘信 教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Nitta H, Okazaki H, KLINGER W, Kido K 「A Study of Japanese Air Traffic Controllers & Air Pilots' Listening Ability in English ATC Communications」『岡山 e-ラーニング研究会紀要第1号』、2023年3月、3～28ページ（共著）</p> <p>2) 稲川敬介、木戸和彦、橋本信一、新田晴彦、<u>岡崎弘信</u> 「e-ラーニングシステムにおけるテラーメイド型カリキュラムの自動作成について」『岡山 e-ラーニング研究会紀要第1号』、2023年3月、50～58ページ（共著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) 酒井登、橋本信一、新田晴彦、<u>岡崎弘信</u> 「ラウンドテーブル「ChatGPT を考える」」岡山 e-learning 研究会2022年度特別研究会、2023年3月20日（於：環太平洋大学（on-line））</p>

<p>* 学会報告座長</p> <p>1) 岡山 e-learning 研究会2022年度研究会 A 2 セッション座長、2023年 3 月20日（於：環太平洋大学 (on-line)）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田弁護士会懲戒委員会委員</p> <p>2) 由利高等学校令和 5 年度第 2 学年「課題研究」発表会講評者、2023年11月15日（於：文化交流館カダーレ）</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 令和 5 年度秋田県立大学市民公開セミナー「教養と遊ぶ」講師「英語‘楽’習法：セリフの不思議を解読してみよう」、2023年10月21日（於：秋田県立大学）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「日本人英語学習者のリーディングスピードがリスニング力に与える影響の研究」、2022年 4 月～2026年 3 月、研究代表者</p> <p>2) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「英語母語話者の航空管制通話と日本人リスニング能力の限界」、2021年 4 月～2024年 3 月、研究分担者</p>

山崎 健一 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Ken'ichi Yamazaki 「Enhancing EFL Learners' Communication Skills in English Classes at a Japanese University」『TELES Journal』（The Tohoku English Language Education Society）2023年 3 月、第43号、181～196ページ（単著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Ken'ichi Yamazaki 「An Introduction of English-Speaking Extracurricular Activities at a Japanese University」Akita JALT、2023年 6 月17日（オンライン）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>TELES Journal 査読委員</p>

<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>1) 大学高校連携授業「イギリス演劇研究基礎」、2023年11月（於：カレッジプラザ）</p> <p>2) 市民公開セミナー「教養と遊ぶ：ウィリアム・シェイクスピアの演劇の魅力」、2023年10月（於：秋田県立大学）</p>
<p>V その他の活動</p>

ジェイソン・タッカー 助教

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>1) Tacker J, 「Toward a Method of Using Virtual Reality for Skills Assessment in EFL」 秋田県立大学総合科学教育研究彙報 Vol, 24, 2023年、33-44 ページ April 13, 2023</p> <p>2) Mamoru Takahashi, Patrick Dougherty, and Jason Tacker, 「“Chicken and Egg” problem: Word counts or academic ability?」 秋田県立大学総合科学教育研究彙報 Vol, 24, 2023年、25-32 ページ April 13, 2023</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>1) Presentation: Toward a Method of VR Assessment in the EFL Classroom Jalt CALL 2023 (Conference) Kumamoto, Japan 2023年6月3日</p> <p>2) Presentation: Can Virtual Reality be Used in the L2 for Positive Transfer of Skills from an Intensive English Environment to Reality? JALT International Conference 2023 Tsukuba, Japan 2023年11月27日</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田県支部長 (プログラミング担当、2022年10月～)</p>
<p>IV 講演・公開講座</p>
<p>V その他の活動</p> <p>On January 23rd 2023 my journal article: Video Conferencing effects on Student Culture and Motivation in L2 English Classrooms 秋田県立大学総合科学教育研究彙報 Vol, 22, 2021年12月、59-66 ページ 2021年12月2日 Was chosen by the Ronsetsu Shiryo Hozonkai to be included in the 55th issue of <i>Collected articles on the English Language</i>.</p>

Avanzi Maria Carlotta 助教

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 筒井忠仁編『仏師と絵師日本・東洋美術の制作者たち』（思文閣出版、2023年4月（共著）Maria Carlotta Avanzi：「キョッソーネ美術館の銅造菩薩立像（Catalog No.B-1263）—制作年代と作者の様式選択をめぐって」

* 学術論文等

- 1) Maria Carlotta Avanzi「Kudara kannon - Verso la Soluzione di un Mistero」（G. Calorio, G. Coci 等『*Nuovi sguardi sul Giappone. Miti, incantesimi, ambiente edrammi*』Clueb 出版、2023年、217～234ページ）（査読付き）

II 学会報告等

* 学会発表

- 1) Maria Carlotta Avanzi 「Legends Crossing Borders: Stories of Saints who Mastered the Technique of the Flying Bowl in Medieval Japan」American Association for Asian Studies: Annual Conference, 2023年2月17,18日（発表日 17日：Boston, オンライン開催）
- 2) Maria Carlotta Avanzi「外交関係：国際的な芸術交流の原動力—韓国美術における蓮花の独自の発展と七世紀の日本への伝播—」、第47回イタリアと日本研究学会、2023年9月14 - 16日（於：イタリア・フィレンツェ）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動・受賞等

- 1) 市民講座「教養で遊ぼう」：「韓国古代美術と日本との関係」、2023年10月28日（於：秋田県立大学・本荘キャンパス）

* 学会活動

- 1) パネル司会セッションチェア：「Resources and Livelihoods」American Association for Asian Studies: Annual Conference、2023年2月17,18日（司会セッション日：18日、Boston, オンライン開催）

尾崎 加奈 助教

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

令和5年度高大連携事業 県立南高校「学術探究活動」指導・助言（2023年7月～12月）

IV 講演・公開講座

* 公開講座

大学コンソーシアムあきた高大連公開講座「高校生のための英語プレゼンテーション」2023年10月14日（於：カレッジプラザ）

V その他の活動

*** 助成研究**

令和4年度新任教員スタートアップ支援プロジェクト「イエイツの演劇に見られる独自性：舞踊の必然性とその意義」2022年5月～2023年3月、研究者代表

令和5年度学長特別プロジェクト「日本人学生の英文要約の力に関する分析調査」2023年4月～2024年3月、研究代表者

*** 助言等**

ゲルフ大学との協定更新（2023年4月）

秋田県立大学案内冊子英語版校正および初校チェック（2023年7月～9月）